

世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 啓発イベント
「ぼくはうみがみたくなりました」

映画上映会 & 講演会

4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」、4月2日から8日は「発達障がい啓発週間」として、自閉症や発達障がいへの理解と支援の輪を広めるための取り組みが行われています。

ぼくはうみが みたくなりました

自閉症の青年が教えてくれた大切なこと…。心がすこし優しくなれる感動のストーリー。

大塚ちひろ 伊藤祐貴
石井めぐみ 小林裕吉
松嶋初音 ピエール瀧 (友情出演)
大森暁美 秋野太作
企画・原作・脚本 山下久仁明
監督 福田是久
音楽 椎名邦仁



日時 2026年4月4日(土) 9時45分~12時30分(開場 9時00分)

会場 新潟青陵大学 青陵ホール(1号館1階)
(新潟市中央区水道町1丁目5939番地)

対象者 新潟市民限定 **定員** 50名(先着順) **参加費** 無料

講演 やました くにあき
山下久仁明氏(企画・原作・脚本)

お問い合わせ

新潟市発達障がい支援センター「JOIN (ジョイン)」
新潟市中央区水道町1丁目5932-621

TEL:025-234-5340 Eメール: dekoboko.join@gmail.com (イベント専用アドレス)



「ドライブ、行かない？ 海とか…」
はじめて出逢ったとき、わたしは彼の障害のこと、
ぜんぜん知りませんでした。

自分を見失いかけていた看護学生の明日美(大塚ちひろ)は、ある日のこと、愛車の黄色いステップワゴンを見つめている青年・淳一(伊藤祐貴)に声をかける。高校時代に好意を寄せていた同級生に面影が似ていたからだ。明日美の誘いを断るわけでもなく、助手席に乗り込んできた淳一とともに、二人は海へと向かう。しかし、彼の言動は少し変だ。いや、少しどころじゃない。どう考えてもおかしい…。偶然からはじまったドライブは、旅先で出会う人々を巻き込みながら、たくさんの驚きとささやかな幸福を明日美にもたらすことに――。

ひとりの自閉症の青年と、その周囲の人々が織り成す、心温まるヒューマン・ドラマ

自閉症の青年と、少し人生行き詰まり気味の看護学生が、偶然から海へ向かう旅に出てしまい、そこで様々な人々とめぐり合うハートウォーミングな人間ドラマ。「自閉症」という名前だけが一人歩きし始めている昨今、実際の症状や接し方等、ほとんど知られていない障害に焦点を当て、ひとりの自閉症の青年を取り巻く人々の人生や心の成長を、時にユーモラスに、時に厳しく、そして温かく描き出した秀作。主人公・明日美に、映画「いま、会いにゆきます」での瑞々しい存在感が話題を呼んだ、大塚ちひろ(映画初主演!)。新人・伊藤祐貴は、500人以上のオーディションから選ばれ、自閉症の青年という難役を見事に演じ切った。その青年の母親役として実力派女優・石井めぐみ、物語のキーパーソンとなる老夫婦役を名優・秋野太作、大森暁美が演じ、ゆったりとした空気感を映画に吹き込む。そして、障害者の「きょうだい」としての高校生役を演じた若手・小林裕吉&松嶋初音の等身大の演技にも注目。



2009年/日本映画/103分/DVD上映
©2009「ぼくはうみがみたくなりました」製作委員会

申込み方法 下記の「二次元コード」または「URL」よりお申込みください。

【申込み用URL】

<https://forms.gle/WVCwTUHCFJJtTyx8>

【申込み用

二次元コード】



申込み期間 2月4日(水)9時00分から3月23日(月)9時00分まで

講演

やました くにあき

山下久仁明氏 (脚本家/本作品の企画・原作・脚本)

日本大学芸術学部放送学科卒。日本シナリオ作家協会会員。につかつ作品で脚本家デビュー。その後、手塚プロダクションと契約。数多くのアニメ作品を手掛けるが、自身の長男の自閉症が判明後に同社を退社。長男のためにとフリースペースつくしんぼ(福祉施設)を開設、代表となる。その後、NPO法人はらっぱを設立。前施設代表兼NPO法人理事長。

新潟青陵大学の学生が運営する、
つながりを生むカフェ「ぶるーすたー。」が
当日開店します

- ・開店時間:9時00分~9時40分
12時30分~12時50分
- ・場所:青陵ホールのエントランス内
※コーヒー等は有料です



詳しくはこちら →

Instagram



- お車の場合は「駐車場出入口」から入場し、「海側駐車場」に駐車してください。駐車後は案内表示に沿って通路を進み、1号館にお入りください。
- 青陵ホールへは「東門」あるいは「正門と東門の間」から1号館にお入りください。



主催:新潟市発達障がい支援センター「JOIN(ジョイン)」/協賛:新潟青陵大学